

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

( 音楽 ) 小委員会委員長

永井浩司



<p>調査研究 審議の経過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教出、教芸の 2 者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回調査委員会(7 月 8 日)で 2 者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第 2 回調査委員会(8 月 3 日、4 日)に、各自の調査研究をもとに内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2、様式 3 を作成した。</li> </ul> <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱内容については、どのような学習活動を取り上げ、目標を達成できるかという視点で調査し、整理した。</li> <li>・内容の構成・配列等については、どのような学習活動を取り扱い、系統的・発展的に学習できるかという視点で調査し整理した。</li> <li>・使用上の配慮等については、学習意欲を高める工夫や主体的に学習に取り組む工夫がなされているかという視点で調査し整理した。</li> </ul>
<p>全体を通じての特徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教出については、学習の見通しがもてる、音楽文化の理解が深まる、音楽を愛好する心情を育てる、という特色があり、優れている。また、活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、曲想を感じ取り、形式を生かして歌ったり音楽の背景を理解して曲全体の構成を聴いたりする活動に特色があり、優れている。</li> <li>・教芸については、音楽の本質を考える、音楽の学習を通して社会とつながる、生涯にわたり音楽文化に親しむ、という特色があり、優れている。また、活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、曲想の変化を生かして表情豊かに歌ったり、作曲者の思いを感じ取りながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりする活動に特色があり、優れている。</li> </ul>

音楽の目標について

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

【学年・分野・領域等の目標など】

〔第1学年〕

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

〔第2学年及び第3学年〕

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

音楽科で育成を目指す資質・能力を「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」と規定し、「(1) 知識及び技能」、「(2) 思考力、判断力、表現力等」、「(3) 学びに向かう力、人間性等」について示した。また、資質・能力の育成に当たっては、生徒が「音楽的な見方・考え方」を働かせて学習活動に取り組めるようにする必要があることを示した。このことによって、生徒が教科としての音楽を学ぶ意味を一層明確にした。

○ 標準授業時数

第1学年－45単位時間

第2学年－35単位時間

第3学年－35単位時間

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1学年 第2・3学年(上) 第2・3学年(下)	音楽・701 音楽・801 音楽・802	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3年上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3年下 音楽のおくりもの
取扱内容 の目標、 学習指導要領の 総則及び各教科、 各学年 の内容等	<p>○ 歌唱については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 斉唱から混声三部合唱までについて、曲想と形式とのかかわりを理解したり、主旋律を担当するパートを確かめ、他の声部を聴きながら歌うために必要な技能を身に付けたりして、歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>第2・3学年～ 斉唱から混声四部合唱までについて、曲想と曲全体の構成とのかかわりを理解したり、他の声部や伴奏と合わせて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>○ 創作については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 言葉のリズムやまとまりを理解したり、全体の構成を考えながら音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する。</p> <p>第2・3学年～ 音符のつなげ方によるリズムの違いを理解したり、選んだ言葉や音階の特徴を生かして表現するために必要な技能を身に付けたりして、まとまりのある創作表現を創意工夫する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、音階や曲の構成等を理解して、複数の音楽の特徴や関連について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>第2・3学年～ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、リズムや旋律の反復による曲全体の構成等を理解して、音楽の役割や特徴を踏まえた共通点や相違点について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、音楽のまとまりを生かして合わせて歌ったり、声の音色や出し方などの特徴を聴いたりする活動</p> <p>第2・3学年～ 活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、曲想を感じ取り、形式を生かして歌ったり、音楽の背景を理解して曲全体の構成を聴いたりする活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「全体の構成を考えながら音楽をつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉の重ね方を工夫しながらイメージに合った音楽をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第2・3学年～ 「CMソングをつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉や音階の特徴を生かして旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 郷土の様々な民謡の学習の後に、日本とアジアの声による表現の特徴を聴き取ったり、日本と世界の歌唱における声の出し方を比較したりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 歌舞伎を鑑賞する学習の後に、歌舞伎と文楽を比較したり、オペラと歌舞伎の音楽の役割や特徴における共通点や相違点について考えたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 表現(歌唱)は44ページ、表現(創作)は6ページ、鑑賞は26ページ、その他は8ページであり、総ページ数は84ページで、前回と同量となっている。</p> <p>第2・3学年(上)～ 表現(歌唱)は36ページ、表現(創作)は4ページ、鑑賞は31ページ、その他は13ページであり、総ページ数は84ページで、前回と同量となっている。</p> <p>第2・3学年(下)～ 表現(歌唱)は34ページ、表現(創作)は4ページ、鑑賞は29ページ、その他は17ページであり、総ページ数は84ページで、前回と同量となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「Let's Sing!」で表現するための技能を提示したり、作者の思いに触れるようして、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「比べてみよう」で学習した教材を比較して表現する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やレイアウトに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	27・教芸	第1学年 第2・3学年(上) 第2・3学年(下)	音楽・702 音楽・803 音楽・804	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下
取扱内容 の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、各学年	<p>○ 歌唱については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 斉唱から混声三部合唱までについて、旋律の特徴や強弱の変化を理解したり、互いの声や伴奏をよく聴いて歌うために必要な技能を身に付けたりして、歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>第2・3学年～ 斉唱から混声四部合唱までについて、曲想と歌詞の結び付きを理解したり、全体のまとまりに気を付けて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>○ 創作については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 音のつながり方の特徴を理解したり、音素材の特徴を生かしながら構成を工夫して音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する。</p> <p>第2・3学年～ 言葉の抑揚を生かすことを理解したり、音階を使って和音の動きに合わせて音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、まとまりのある創作表現を創意工夫する。</p> <p>○ 鑑賞については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化等を理解して、各地に伝わる音楽の特徴について自分なりに考え、音楽等のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>第2・3学年～ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽等について、声や楽器の音色、旋律の特徴等を理解して、世界各地の楽器と似た特徴をもつ日本の楽器の音楽などを聴き比べて共通点や相違点について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>○ 〔共通事項〕については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、曲の構成を感じ取り表現を工夫して歌ったり、曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴いたりする活動</p> <p>第2・3学年～ 活動内容に示された〔共通事項〕を意識しながら、曲想の変化を生かして表情豊かに歌ったり、作曲者の思いを感じ取りながら、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりする活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「My Melody」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音のつながり方を工夫しながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第2・3学年～ 「Let's Create!」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、リズムの重なりや音の出し方を工夫してリズムアンサンブルをつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p>			

<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 日本の民謡を味わって聴く学習の後に、声や音楽の特徴を生かして民謡を歌ったり、郷土に伝わる民謡を調べたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2・3学年～ 文楽を味わって聴く学習の後に、声や音楽の特徴を生かして義太夫節を語ったり、郷土の祭りや芸能について考えたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 表現(歌唱)は53ページ、表現(創作)は7ページ、鑑賞は24ページ、その他は15ページであり、総ページ数は99ページで、前回より約24%増となっている。</p> <p>第2・3学年(上)～ 表現(歌唱)は51ページ、表現(創作)は6ページ、鑑賞は28ページ、その他は14ページであり、総ページ数は99ページで、前回より約24%増となっている。</p> <p>第2・3学年(下)～ 表現(歌唱)は46ページ、表現(創作)は4ページ、鑑賞は34ページ、その他は15ページであり、総ページ数は99ページで、前回より約24%増となっている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 「My Voice」で歌唱表現のための技能を提示したり、演奏者からのアドバイスを紹介して学習を深めることができるようにしたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「曲のよさをプレゼンしよう」でみんなに薦めたい曲のよさを音楽と関連付けてプレゼンテーションする活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、白を基調とした紙面で、情報の配置に配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

( 音楽 ) 小委員会委員長

永井浩司



調査研究	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教出、教芸の 2 者</li> </ul> <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 回調査委員会(7 月 8 日)で 2 者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。</li> <li>・第 2 回調査委員会(8 月 3 日、4 日)に、各自の調査研究をもとに内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2、様式 3 を作成した。</li> </ul>
審議の経過	<p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱内容については、どのような学習活動を取り上げ、目標を達成できるかという視点で調査し、整理した。</li> <li>・内容の構成・配列等については、どのような学習活動を取り扱い、系統的・発展的に学習できるかという視点で調査し整理した。</li> <li>・使用上の配慮等については、学習意欲を高める工夫や主体的に学習に取り組む工夫がなされているかという視点で調査し整理した。</li> </ul>
全体を通じての特徴	<p>2 審議経過の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教出については、学習の見通しがもてる、音楽文化の理解が深まる、音楽を愛好する心情を育てる、という特色があり、優れている。また、〔共通事項〕については、活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、音色と奏法とのかかわりを理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動に特色があり、優れている。</li> <li>・教芸については、音楽の本質を考える、音楽の学習を通して社会とつながる、生涯にわたり音楽文化に親しむ、という特色があり、優れている。また、〔共通事項〕については、活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、曲の構成を理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動に特色があり、優れている。</li> </ul>

音楽の目標について

【教科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

【学年・分野・領域等の目標など】

【第1学年】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

【第2学年及び第3学年】

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

音楽科で育成を目指す資質・能力を「生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力」と規定し、「(1) 知識及び技能」、「(2) 思考力、判断力、表現力等」、「(3) 学びに向かう力、人間性等」について示した。また、資質・能力の育成に当たっては、生徒が「音楽的な見方・考え方」を働かせて学習活動に取り組めるようにする必要があることを示した。このことによって、生徒が教科としての音楽を学ぶ意味を一層明確にした。

○ 標準授業時数

第1学年－45単位時間      第2学年－35単位時間      第3学年－35単位時間



様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	17・教出	第1・2・3学年	器楽・751	中学器楽 音楽のおくりもの
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 器楽については、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、音色と奏法のかかわりや曲想と音楽の構造とのかかわりを理解したり、基本的な奏法や他のパートと合わせて演奏する技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 【共通事項】については、活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、音色と奏法とのかかわりを理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動が取り上げられている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「不思議な旋律」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、楽器の音色や響きを生かし、全体の構成を工夫して表現するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動が取り上げられている。</li> </ul>			
内容の構成・排列、分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、新しい音の運指やいろいろな奏法を身に付けて、表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、次のようになっている。 表現(器楽)は89ページ、その他は10ページであり、総ページ数は99ページで、前回と同量となっている。</li> </ul>			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な音楽に触れることができるように、世界の諸民族の楽器を掲載したり、箏と篠笛の家元からのメッセージにより、音楽を愛好する心情を育んだりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「何が同じで、何が違う？」において、吹く楽器と弾く楽器の共通性と固有性を考えて特徴をまとめる活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色やレイアウトに配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	27・教芸	第1・2・3学年	器楽・752	中学生の器楽
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 器楽については、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、曲の構成や音色や強弱、音の重なりなどを理解したり、基本的な奏法やパートの役割を考え、全体の響きを確認しながら演奏するために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</li> <li>○ 「共通事項」については、活動内容に示された音楽を形づくっている要素を意識しながら、曲の構成を理解したり、曲にふさわしい表現を工夫したりする学習活動が取り上げられている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「深めよう！音楽」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、パートの役割や曲の構成を生かして表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする学習活動が取り上げられている。</li> </ul>			
内容の構成・排列、分量等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容の構成・排列については、楽器を演奏するための姿勢や構え方、基本的な奏法の学習の後に、練習や演奏のポイント等を参考に、表現する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の分量については、次のようになっている。 表現(器楽)は87ページ、その他は20ページであり、総ページ数は107ページで、前回よりも20%増となっている。</li> </ul>			
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な音楽に触れることができるように、様々な打楽器の奏法を掲載したり、ピアノ奏者からのメッセージにより、自ら考える力を引き出したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、和楽器奏者からのメッセージにより、楽器の特徴を理解する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、白を基調とした紙面で、情報の配置に配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</li> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			